

「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業」  
グローバル展開プログラム最終評価結果表

課題	A：グローバル社会における排他主義とデモクラシーに関する総合的研究
研究テーマ名	「難民危機」の時代におけるレイシズムの変容とその克服策に関する国際比較研究
研究代表者	飯田 文雄
所属機関・部局・職	神戸大学・大学院法学研究科・教授
研究成果の総合評点：A	
研究成果に係る所見	
<p>本研究は、レイシズムに関して国際比較研究をし、その上で、現代民主主義の安定的発展を可能にするレイシズムへの対応策を検討することを目的とするものである。具体的にはヘイトスピーチと国粋主義政党の二つの現象形態に類型化して考察するという手法を採用し、従来の通説的な想定や概念定義には修正が必要な部分があるとするなどの有益な知見を導き出している。また、研究成果の公表や国際的発信も一定程度見られる。ただし、研究成果として上げられているものの中にはレイシズムの研究とはややかけ離れたテーマのものも散見される。今後、共同研究としてのよりまとまった知見の整理と公表を期待したい。</p>	

※ 「研究成果の総合評点」に対する標語は下記のとおり。

- S. 研究目的に照らして、期待以上の成果があった
- A. 研究目的に照らして、期待どおりの成果があった
- B. 研究目的に照らして、十分ではなかったが一応の成果があった
- C. 研究目的に照らして、十分な成果があったとは言い難い